



TsunamiCast

- 世界最先端のフォワード型リアルタイム津波浸水・被害予測
- 民間事業者初、津波の予報業務許可を取得※1
- HPCによるリアルタイム解析の特許取得※2

※1 許可第240号、津波の予報業務許可、March 27.2024

※2 特許第6161130号、津波浸水予測システム、制御装置、津波浸水予測の提供方法及びプログラム、June 23.2017

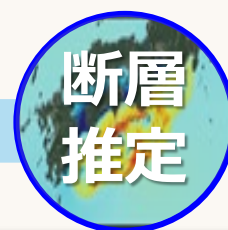
地震発生直後にリアルタイムに解析を行い
20分以内※3に浸水被害の予測情報を提供



- 防潮堤などの実際の構造物を反映した予測
- 浸水範囲、浸水深、浸水開始時間、建物被害などを予測
- 地図と重ね合わせた判り易いWebインタフェース



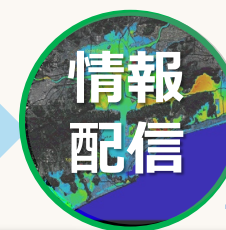
各種地震情報から
断層設定



スーパーコンピュータ
による津波解析・被害推定



可視化、自動配信



20分以内

これまでの取り組み、導入実績

2014年
12月

総務省G空間シティ構築事業による実証
(リアルタイム津波予測技術と準天頂衛星を
利用した配信の実証)

2015年
12月

総務省G空間防災システム連携推進事業による実証
(アラートへのリアルタイム浸水予測配信実証)

2017年
11月

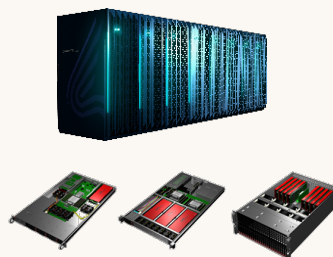
内閣府「津波浸水被害推計システム」
を導入 ※4

2024年
4月

民間事業者初の津波予報業務許可を取得・運用

数千キロに及ぶ広域津波災害像を、きめ細やかな解像度で、陸域の浸水被害まで即時推定

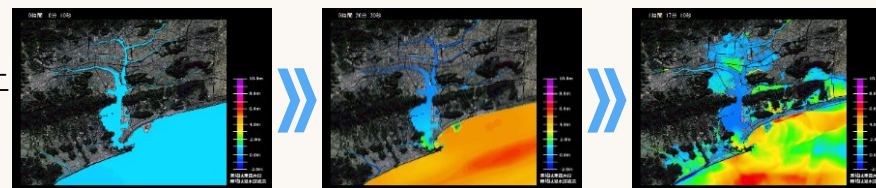
スーパーコンピュータ
SX-Aurora TSUBASA



津波の
発生伝播



津波の
陸上遡上



※3 概ね1県分の範囲を10m解像度で6時間予測を行う場合の時間となります。

予測結果の提供までの時間は、起動条件、予測時間、メッシュ解像度、予測範囲および予測情報の種類に依存します。

※4 本技術は、内閣府の総合防災情報システムに採用されています。FY2025にて日本全国を対象予定（瀬戸内海を除く）

会社概要

会社名 株式会社 RTi-cast (RTi -cast Inc.)			
所在地 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-2-10			
役員・顧問	代表取締役 (CEO)	村嶋陽一	東北大学災害科学国際研究所 特任教授 (客員) 国際航業株式会社
	最高技術責任者 (CTO)	越村俊一	東北大学災害国際科学研究所 教授
	最高執行責任者 (COO)	撫佐昭裕	東北大学サイバーサイエンスセンター 客員教授 日本電気株式会社
	最高財務責任者 (CFO)	加地正明	株式会社エイツー
	取締役	鈴木崇之	国際航業株式会社
	取締役	片谷信治	東北大学災害国際科学研究所 特任准教授 ESRIジャパン株式会社
	技術顧問	小林広明	東北大学大学院情報科学研究科 教授
	技術顧問	日野亮太	東北大学大学院理学研究科 教授
	技術顧問	太田雄策	東北大学大学院理学研究科 教授
	技術顧問	MAS Erick	東北大学災害国際科学研究所 准教授
資本金		4,800万円 (資本準備金4,800万)	
出資団体		国際航業株式会社 株式会社エイツー ESRIジャパン株式会社 日本電気株式会社	
従業員数		18名 (2026年1月 時点役員等を含む)	

RTi-castは、東北大学と民間企業との産学連携研究の成果であるリアルタイム津波浸水・被害予測システムを中心に、多発する災害の被害状況を予測するシステムの販売・運用、さらに予測情報を配信する会社です。様々な取組と連携し、世界最先端のシステムを發展させ、国内外に展開していくことを目指しています。私たちは、弊社の事業を通じて、将来の災害を「生き延びる、素早く立ち直る」社会の実現に向けた新たな活動を展開します。

代表発起人・CTO：越村俊一
(東北大学災害科学国際研究所・教授)



TsunamiCast 商標登録 第 6649409号

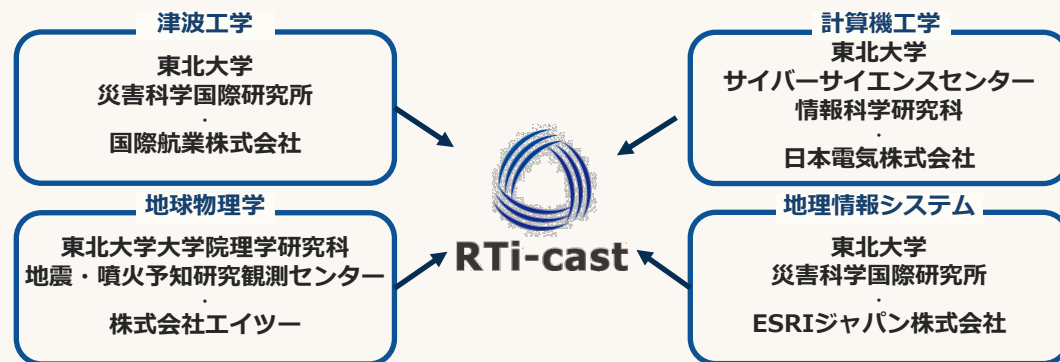


問合せ先

URL : <https://www.rti-cast.co.jp>
Email : hisyokoho@rti-cast.co.jp



専門分野の企業・大学の技術と知見を集めた 東北大学発スタートアップ企業



事業内容

- リアルタイム津波浸水・被害予測システムおよびデータの構築・整備・運用・更新
- 同システム等を用いた予測情報、計算結果の提供
- 災害およびその発生に関する自然現象に関する研究・開発・教育・普及・啓蒙・コンサルティング・システム構築および、これらに関連する事項

実績

- 内閣府津波浸水被害推計システムの拡張業務の受注、同運用業務の受注
- 気象庁から民間事業者初の津波予報業務の許可取得
- リアルタイム津波浸水・被害予測システムによる自治体等への津波予測の配信

これまでの
取り組みと
成果

2013年10月	G空間情報を活用した次世代防災・被災地支援システム研究会の設立、活動開始
2014年12月	総務省G空間シティ構築事業による実証 (リアルタイム津波予測技術の実証)
2015年 3月	国連防災世界会議でのサイドイベントおよび技術展示を実施
2015年12月	総務省G空間防災システム連携推進事業による実証 (Lアラートへのリアルタイム浸水予測配信実証)
2016年 3月	ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞) 優秀賞受賞
2016年 6月	東北総合通信局長表彰受賞
2017年 4月	内閣府の「津波浸水被害推計システム」として採用
2017年 6月	特許登録, 第6161130号「津波浸水予測システム、制御装置、津波浸水予測の提供方法及びプログラム」
2017年11月	内閣府総合防災情報システム「津波浸水被害推計システム」運用開始
2018年 3月	株式会社RTi-cast設立
2018年 4月	科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞の開発部門受賞「リアルタイム津波浸水被害予測システムの開発」
2019年 2月	第1回 日本オープンイノベーション大賞 総務大臣賞 リアルタイム津波浸水被害予測システムの開発と運用
2020年11月	「J-StartupTOHOKU」企業に選定
2021年 8月	科学技術振興機構 「JST大学発ベンチャー表彰特別賞」を受賞
2022年12月	「TsunamiCast」商標登録
2023年 9月	戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) に参画
2024年 4月	気象庁から津波予報業務許可を取得 (許可第240号)